

加茂市・南蒲原郡の取組について

加茂市と南蒲原郡（田上町）は、別に活動を行っているため、分けて報告する。

1 加茂市の活動

加茂市は、「算数・数学部」として小学校と中学校が合同で研究協議会を開いている。毎年小学校と中学校が隔年で授業公開を行い、小中両方で参観し協議している。

(1) 研究テーマ 「学び合う力を育成する学習活動」

(2) 事業内容

- 授業公開 11月8日（火） 中学校2年数学科「図形の性質の調べ方」
授業者 若宮中学校 教諭 丸山 一仁

〈成果〉

- 全員の学びを保障しながら学力を定着させるには、グループ活動が有効である。

〈課題〉

- 個人で考える時間を十分保障してからグループ活動に入る必要がある。
- 小中で連携しながら学力向上に向けた取組を今後考える必要がある。

2 南蒲原郡（田上町）の活動

田上町は、小中合同で「学力向上部」として活動を行っている。学力向上部の活動の中で算数・数学を中心とした学力向上、小中の連携をねらいの一つとして取り組んでいる。

(1) 研究テーマ 「関わり合いをとおして、自分の考えをもつ子ども」

(2) 事業内容

- 授業公開 6月24日（金） 小学校6年算数「いろいろな形の面積」
授業者 羽生田小学校 教諭 渡邊 園子
- 授業公開 11月24日（木） 中学校1年数学科「平面図形」
授業者 田上中学校 教諭 小竹 徹
田上小学校 教諭 五十嵐真紀子
羽生田小学校 教諭 藤田 裕子

〈成果〉

- 小中合同で指導案を作成し、小中連携として価値があるものだった。中学校は、小学校のきめ細かさを学ぶことができた。
- 関わり合いは、一人一人が自分なりの考えをもつのに有効だった。

〈課題〉

- 小グループの話し合いや全体での話し合いでは、どのような意図だったのかを考慮しておくことが大切である。
- 「子どもにまかせる授業」にしていくためには、子どもが考えたいと思えるような課題が必要である。また学び合いをするためには、「どんな観点で話し合いたいのか」「どんな思考をさせたいのか」を教師がしっかりとつ必要がある。